

## 一時預かり事業（幼稚園型）について

### 1. 一時預かり事業（幼稚園型）の位置づけ

平成27年4月施行の「子ども・子育て支援新制度」において、地域の子育て支援の充実を目的とした重点事業の一つとして位置付けられ、国・県からの交付金による財政支援も行われることになった。

近年、幼稚園に通う児童の家庭の中でも、核家族の増加により普段は保護者が家にいても、小学生の子供の授業参観や行事、病院への受診や付添など、急な用事の時に安心して預かってもらいたい、また経済的負担の軽減のため、短時間でも働きたいなど、保護者を取巻く社会情勢の変化により、幼稚園における子育て支援策を求める声が高まってきた。

このような状況の中、教育時間（午後2時30分）終了後や、夏休みなどの必要な時に預かってもらいたいとのニーズに応えるため、利用時間に応じた日額制として制度化した。

出雲市では、現在17園で一時預かり事業を実施。【別表1】

### 2. 未実施園への対応

- ・現在、幼稚園における一時預かり事業が未実施である園について、休園中であつた乙立幼稚園を除く9園の希望調査（H27年度在園児及びH28年度入園予定児の保護者を対象）を実施したところ、

平日利用 490人中413人（84.3%）

長期休業利用 490人中401人（81.8%）

の利用希望があつた。

- ・今年度、アンケート調査を行った8園（夏休みに施設改修工事を行う高浜幼稚園を除く）大津・古志・高松・長浜・神門・神西・荒木・遙堪の各幼稚園において、在園児の夏休み一時預かり事業の試行を実施している。

【試行の中間報告】 7月21日～7月31日までの実施分

8園の全園児数 311人

試行の登録者数 153人（登録率 49.2%）

（年代別）年少50人（52.1%）年中39人（44.3%）年長64人（50.4%）

試行の利用実績 延開設日数 54日 延利用者数 442人

一日あたり平均利用者数 8.2人

### 3. 今後の対応方針

- ・未実施園のアンケート調査や一時預かり事業の試行を踏まえ、ニーズが高い幼稚園から、本格実施（午後4時30分まで）を検討。【別表2】
- ・本格実施の開始年度については、できるだけ早期の実施が望まれることから、数年以内には9園全園での実施を検討。